

SDGsレポート

2021年12月



紀陽リースは、紀陽フィナンシャルグループの一員として、母体行である紀陽銀行と連携し、「時代の変化に臨機応変に対応しながらお客様のニーズにお応えする」という経営方針としております。その方針のもと、事業活動を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。具体的には以下の3点を重点取り組み項目としております。

事業計画

- ① 紀陽フィナンシャルグループの一員として、リース事業について安定的な収益構造を確立させ、グループ収益の向上に資する。
- ② 地元企業の設備投資時における資金調達手段の多様化へ貢献することを通じて、本業支援を行う。
- ③ コロナ禍において資金調達の多様化に対するニーズが高まる中、リースを中心とした総合金融サービスの提供を通じて、資金支援を行う。

①地域経済の持続的な成長への貢献

地域の事業者さまの本業支援を通じ、地域産業の発展と雇用創出の推進に貢献する

【具体的な取組】

- ・製造事業者の設備投資（マザーマシン）等への対応
- ・事業者さまの多様な資金調達ニーズへの対応



②環境負荷の軽減と社会インフラ維持・地方創生への貢献

事業者さまの環境負荷軽減への取り組みを支援するとともに、農林水産業や観光事業者さまへのリースの取組みを通じ社会インフラ維持、地方創生に貢献する

【具体的な取組】

- ・環境負荷の低い自動車リースの取組
- ・農林水産業や病院、観光事業者の支援



③多様な人材の活躍推進

働きがいの向上に努め、あらゆる人材が最大限に能力を発揮できる環境を整備することで質の高いサービスの提供を実現する

【具体的な取組】

- ・従業員のニーズにあわせた柔軟な働き方の推進
- ・業務効率化の推進



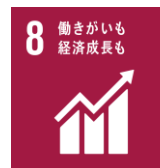
・経済成長
・雇用促進
・環境負荷軽減

持続可能な
地域社会
の実現

より質の高いサービスのご提供

多様な人材が最大限
に能力発揮

地域経済の持続的な成長への貢献



地域の事業者さまの本業支援を通じ、地域産業の発展と雇用創出の推進に貢献する

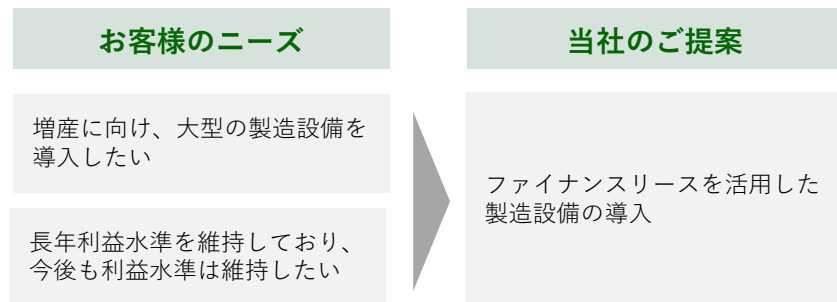
新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、企業の決算対策を目的としたコスト平準化、手元資金確保を目的とした調達多様化等のニーズが顕在化する中、母体行である紀陽銀行との連携体制を一層強化しました。

紀陽フィナンシャルグループのリース事業として、リースを中心とした総合金融サービスの提供を通じた本業支援ならびに資金支援により、地元企業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応してまいります。

製造事業者の設備投資（マザーマシン）等への対応

➤ リースを活用した費用平準化・利益水準の維持

お客様のニーズにあわせて、リースを活用した財務コンサルティングを実施しています。



設備導入の初年度は、多額の減価償却費を計上しなければならないため、費用が先行し利益水準は低下します。一方、リースは每期定額の費用計上となり費用平準化が図れ、利益水準を維持することができます。

➤ 補助金制度・リースを活用した設備導入支援

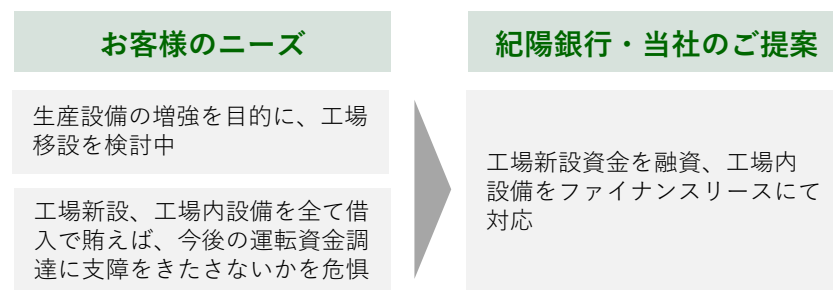
お客様の省エネ設備の導入や既存設備の更新に際し、補助金を活用する等の最適な設備投資方法を提供します。

事業者の多様な資金調達ニーズへの対応

➤ 紀陽銀行との連携・協調

リース媒介業務の更なる展開、紀陽銀行の営業リソースの更なる活用等、紀陽銀行との連携体制を強化しました。お客様のニーズに的確に対応する体制を構築することにより、高度かつきめ細やかな総合金融サービスをご提供します。

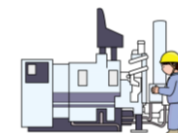
紀陽銀行との連携・協調事例



初期費用負担の軽減及び今後の金融機関からの資金調達余力を残す仕組みを実現しました。

工場は融資で対応

設備はリースで対応



環境負荷の軽減と社会インフラ維持・地方創生への貢献



事業者さまの環境負荷軽減への取り組みを支援するとともに、農林水産業や観光事業者さまへのリースの取り組みを通じ社会インフラ維持、地方創生に貢献する

社会の環境正価の向上を目指し、環境課題の解決に役立つ機器・設備の取り扱いを推奨するとともに、リースやファイナンス等の手法の活用によりお客様の環境負荷軽減への取り組みを支援します。

一次産業および観光産業で必要とされている機械・設備の導入に際し、リースを活用した資金負担の軽減や調達多様化等の本業支援を通じて社会インフラ維持、地方創生に貢献します。

環境負荷の低い自動車リースの取組

▶ C E V（クリーンエネルギー自動車）のリース導入支援

お客様の環境負荷軽減への取り組みを支援するとともに、モノを扱う総合リース会社の特性を活かしたビジネスを通じて、循環型社会の実現に貢献します。

▶ C E V（クリーンエネルギー自動車）の補助金リース活用支援

C E Vを導入するに際し、補助金を活用する等の最適な導入方法を提供します。

C E Vのリース導入支援実績

電気自動車

環境負荷軽減への取り組みを推奨するお客様の社用車導入の検討に際し、C E V補助金およびリース活用によるC E V導入を提案。



水素自動車

水素自動車の導入を検討するお客様に対し、C E V補助金およびリース活用による導入を提案。

エコカーの導入支援により、環境負荷の軽減への取り組みを支援



農林水産業や病院、観光事業者の支援

▶ 一次産業向け最新機器のリース導入による本業支援

一次産業の成長産業化に向けたA I・I o t・ロボット等の技術が組み込まれたシステムや機械の導入・活用を支援するとともに、生産性向上の実現に貢献します。



▶ 病院向け最新機器のリース導入による本業支援・社会インフラ維持

医師や看護師が行う検査や処方等のオーダーを電子的に管理するシステムの導入にリースの活用を提案し、診療に関わる一連の業務迅速化等を支援するなど、病院向けの本業支援を行うことにより、社会インフラの維持に貢献します。

▶ 観光事業者の設備投資・更新に伴うリース活用・地方創生

ホテルや宿泊施設の開発・改装、設備老朽化に伴う設備投資、恒常的な設備更新に向けた機器の導入・活用を支援するとともに、リースを通じた観光事業の活性化に貢献します。



多様な人材の活躍推進



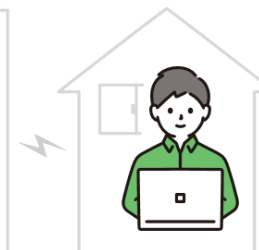
ワーク・ライフ・バランスの実現

各人のライフスタイルや価値観に応じた多様な働き方を可能にすることで、さらに活力ある組織となり、地域のお客さまに満足いただけるサービスの提供が可能となります。制度面の整備に加え、制度の浸透と制度を活用しやすい職場づくりに取り組んでいます。

ワーク・ライフ・バランスデー	原則毎週水曜日を「ワーク・ライフ・バランスデー」とし、終業時間前の午後5時を目処とした退社を励行しています。また、時間管理を徹底し、効率性・生産性の向上による時間外勤務の削減に努めています。
有給休暇の取得促進	月1回の有給休暇取得を推奨しています。また有給休暇を取得しやすい環境を整備し、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。
在宅勤務制度・テレワークの推進	タブレット端末の活用等による在宅での勤務を可能とすることで、仕事と育児や介護との両立に柔軟に対応しています。
配偶者出産休暇	女性の出産の負担軽減や、男性の育児参加への意識向上を目的に設けられた制度で、配偶者が出産する従業員は出産予定前後1か月で3日間取得できます。
育児休業	「Microsoft 365」の活用 2019年度に導入した「Microsoft 365」を活用し、「Teams」を使用した社内会議を開催しています。離れた場所からでもスムーズなコミュニケーションをとることが可能となり、在宅勤務制度を積極的に推進することにより、出勤者数を制限し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めています。 「Zoom」の有効活用 対外企業との面談時に出張等の代替として、Zoomを有効活用することで、効率的な情報共有を実施。新型コロナウイルスの感染拡大防止にも寄与します。
育児・介護短時間勤務制度	
時差勤務制度	
深夜勤務・時間外の制限措置	
看護・介護休暇	



Microsoft 365



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記述された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績にかかる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意ください。
- なお、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに転写・複製し、または第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。

【本件に関する照会先】

紀陽リース株式会社 経営企画室

T E L : 073-426-7505

H P : <https://www.kiyo-lc.co.jp>